

# 新潟県 公民館月報

昭和57年6月号

発行所 新潟県公民館連合会

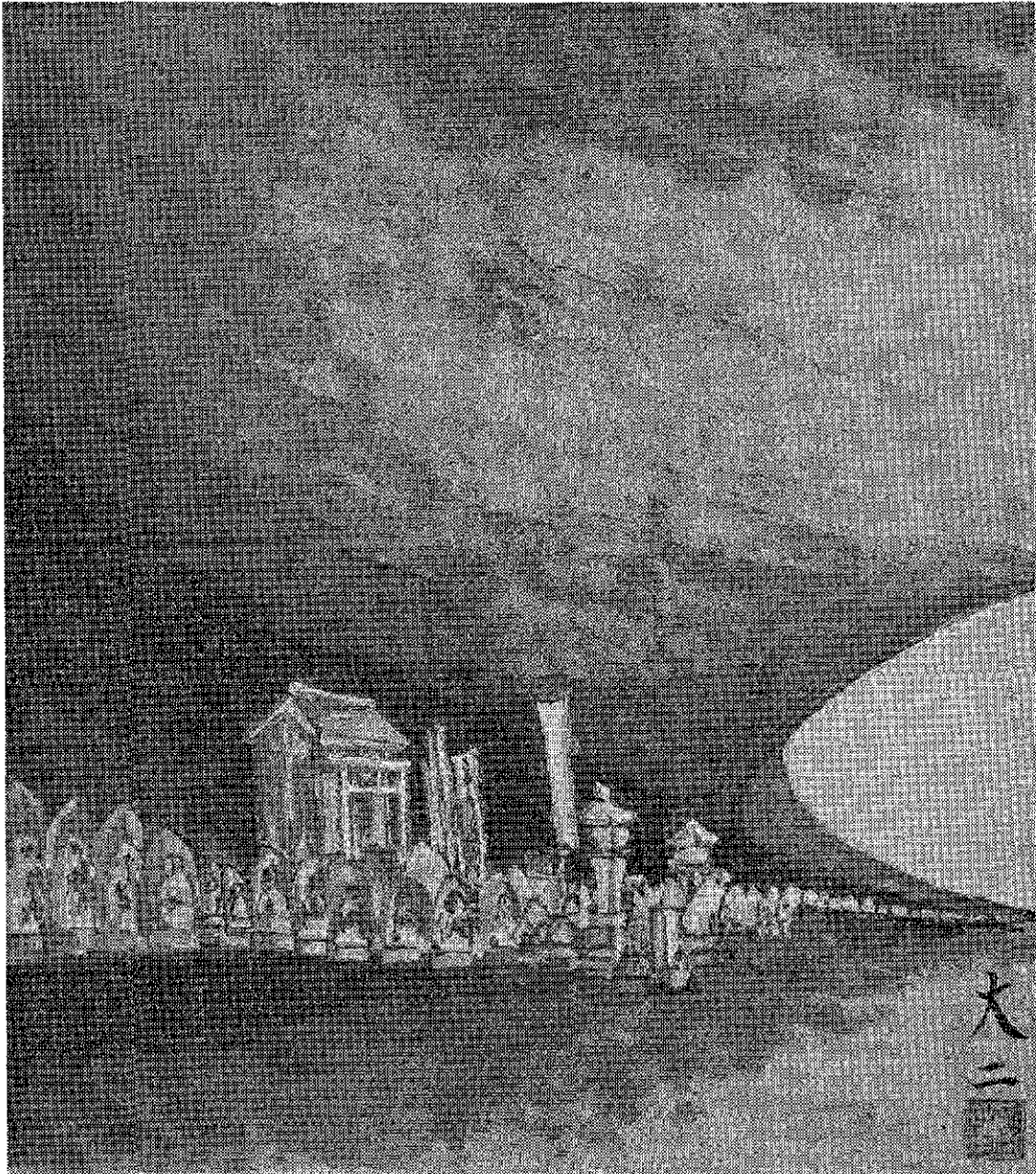
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟(0252)24-6073】【振替新潟4049】

発行人 会長 石井耕一

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部100円 年共・年価1,200円】



大  
二  
四

## 月の岩屋の不動尊

「月の岩屋の不動尊」と大書された石柱を左手に、冷気さへ感ずる道を二百米ほど進むと、間口三〇米、奥行一三米、高さ平均一・八米の半月形をした水成岩でできた洞窟が、右手に滝を従え、訪う人に敬虔の念を抱かせる靈氣を漂よわせて、荘重な姿を見せている。そして、何と、この洞窟の中に百五十体近くの不動尊が鎮座しているのである。

これが、村文化財に指定されている大島村板山の、板山不動尊である。

この不動尊は一面二手の童子形をしており、見ていると、何か親しみが湧いてくる。

その昔、不動明王のお告げにより役行者が尊像を安置したのが始まりと伝えられている。朽ちたものから比較的新しいもので百体を超える石仏を見ていると、いかに庶民信仰が盛んだったかが手にとるようにわかる。

今では参道が整備され、昔の面影がやや減少したが、「月の岩屋」の静寂と靈氣にひかれてか、参詣者は相当数ある。

絵・大島村教委・社会教育

文・大島村教委 主任 磯貝 大二

片桐 恒雄

# 公民館総合補償制度

市町村立公民館の実態に応じ、加入の種類は自由です。

- A型【行事傷害】+【賠償責任】+【職員傷害】
- B型【行事傷害】+【賠償責任】
- C型【行事傷害】 + 【職員傷害】
- D型【行事傷害】

上記4種類から自由にお選びください。

予算がついた時点で即加入ができます。

**中途加入の補償期間** ●毎月1日から5月1日まで(掛金は月割計算)

〒951 新潟市東中通1番町86

**安田火災海上保険新潟支店**

電話 0252-25-1812番

加入申込み手続きや補償制度の内容などについてお問い合わせの場合は左記へ。

## 公民館総合補償制度加入状況

(昭和57年5月現在)

市町村	A型	B型	C型	D型	合計	職員傷害数	市町村	A型	B型	C型	D型	合計	職員傷害数
上越市				2	2		湯之谷村	1				1	1
柏崎市			1		1	1	六日町			2	1	3	20
新潟市				1	1		中里村	1				1	4
小千谷市				2	2		大和町	4	1			5	4
十日町市	6		2		8	28	小国町	1				1	4
村上市				5	5		刈羽村		1			1	
糸魚川市				2	2		西山町			1		1	1
新井市			1		1	2	安塚町				1	1	
河津町	1				1	1	松之山村				1	1	
安田町				1	1		牧村	1				1	9
京ヶ瀬村	2	1			3	4	大潟町				13	13	
豊浦町				1	1		板倉町				1	1	
聖治川村			1		1	2	三立町				1	1	
加雲寺町		1			1		能生町				5	5	
紫雲寺町				1	1		能生林村				1	1	
岩室村	1				1		相川町			1		1	
岩室村				1	1		相川町			1		2	2
弥彦村				1	1		佐和田町	1				1	1
分水町				1	1		金井町	1				1	3
月潟村				1	1		新穂村				1	1	
津川町		1			1		新真野町		1			1	
栄町				1	1		畑野町	1			1	2	2
中之島村				1	1		小木町		1			1	
越路町		1			1		小羽泊村				1	1	
三島町				1	1						1	1	
与板町				1	1								
出雲崎町		1			1								
和島村				1	1								
山古志村				5	5								
							合計(54市町村)	21	9	9	60	99	89



# の課題と展望(2) 第4回全公研集会分科会の記録から

(2) 公民館は私たちのものとするための意識づけの手立ては

- 受益者負担(バス代・テキスト代等)有料化することにより出席者もよくなる。
- 講師謝金は公民館負担
- 今年4月から公民館長、身分は嘱託で年契約(月15日以上)非常勤であるが常勤。見かえりがない。
- 使用料について、20学級もっている。町から補助がある。
- 自主学級に対しては、会場を無料提供

(3) 公民館の管理運営と職員の勤務について。

- 土曜日の勤務は代休多。日曜日出勤は館長の認印により代休。
- 中公館は夜間の開館はやっていない。分館は区長に委託。夜間も使用している。
- 休館について、町条例で設定、祝祭日と第4日曜日が休館。土曜日は17時まで、日曜日は貸館が主である。
- あれもこれもサービスの過剰もあるのではないか。職員を増しても忙しい。年間計画をたてる中で、公民館自体のもの、貸すもの、事務局のものに整理し、なるべく夜間はしない。分担制の確立により忙しいということを排除している。主事手当として10%出てる。
- 認められた団体の公民館使用は無料、同窓会・ピアノ発表会等は使用料をとっている。

(4) 最後の柱としての、事業運営。組織づくり・団体育成について

- 社会教育の真の意味を理解された人々が出てこられるのを待っている。そのためのリーダーを養成することに努めている。
- 中公と町民の接触はすくない。中公の事業には中公の近くの人のみが参加、遠くの人参加しない。地域によつてかなりの差がある。
- 抽選で館長になっている人もある。
- 中公は類似施設に命令も出来ないし、要請があつて初めて出かけるのみで、指導も出来たものでない。類似施設の連絡協議会を作ること急いでいる。
- 集まる公民館を提案したが、公民館が整いすぎ住民から近よりがたいものになっている感あり、地域に根ざす公民館を考える時、これではいけないと思う。
- 「公民館協力員」を「社会教育振興員」という名称に変え、地域と公民館をつなぐパイプ役という組織がある。

○ボランティアの開発・拡充の考えとして、「公民館友の会」をもったが、お偉い方を対象としたので失敗、「公民館OBの会」を作ろうとしている。

### 3. ま と め (柴田)

- 社会教育は時代の変化と共に変わり、地域により異なるものである。中央公民館か地区公民館か、それぞれの地域の実態による。
- 教育の水準が高くなっている(高校大学での進学率が高まっている)現在、日本独特の社会教育を考えていかねばならぬ。
- もう一つは国の臨調に対して、国であろうと、府県市町村にしても財政には限りがある。自分達の金をどう使っていくのかを考えるのも大切だ。現場では満足していないが、財政のしくみを学習するのも社会教育である。これからの地域をよくしていく素地になる。
- 勤務の問題について、現業ならば残業ははっきり出るが、事務の場合は明確に出てこない。人の能力による差をどこでけじめをつけるか問題である。

### (田代)

- 三つの基調報告があつたが、三地方三様の報告であつた。それぞれの地域で地域の基盤の上に立つて、今やるべきことをやっていくしかない。これが今日の一つのポイントである。
- 最近日本の社会教育にたずさわっている人の悩みでもあるが、人々の物の見方・考え方が短時間に流行現象・ブームにひきかき多くの人々の関心が遠のいてしまう事象……。

今何をやるのかを多くの人々に納得させなければならぬ。これは、公民館が地域の人々の財産として何をしていくのか、公民館を守り育てていく重要な条件だと思ふ。

- 住民参加ということばは聞けばよいが形だけ整えるのではだめだ。背伸びをすれば必ずその反動が来る。
- 公民館の活動は地道なもので、公民館に対する信頼を深め、住民をつないでいくのが大事だ。
- 法律一点ばりよりも、公民館は何をしていくのかに立って筋道を明確にしなければならない。(宗教・政党)
- 少ない職員で忙しい職務は多いが、行政上のしきたりと合わないことは現実の問題である。何か代償を考える必要がある。

## 生涯教育から 公民館番頭日記

柏崎市では全市公民館共通の「生涯教育」を推進しようとしている。その意識の強さが昨今である。

「他人のことばかり考えず、自分のことばかりをばねしてやる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

「人間はひとりでは生きられない。人間らしく生きるためには、同じ地域に住むひとりが心をかよせ合う、よきよき生活をめざして力を合わせる」

(柏崎市中央公民館 参事兼事務局長 徳岡助次)

# 町村における公民館の管理経営

司会者 奈良県公連会長 本塚 実  
助言者 神奈川県立衛生短期大学教授 田代元弥

- 基調発表
1. 岩手県石鳥谷町中央公民館長 菅原昭造
  2. 奈良県香芝町中央公民館長 鳥田嘉清
  3. 愛媛県宇和町中央公民館長補佐 末光安雄

## 1. 基調発表

(発表1) 開かれた「集まる公民館」を

- (1) 管理経営の現状と課題(石鳥谷町)
- ①町立公民館7、部落自治公民館48の合計55館、公の立場では、町立地区公民館を第1線施設に位置づけているが、精彩を欠く。
  - ②現在各館では附帯施設の充実に努力中、体育館・運動公園等の整備が進行中である。
  - ③職員配置・予算から管理上の課題
- (2) 今後の方向
- ①事業計画と予算  
事業の有料化と共催方式の検討
  - ②開かれた公民館の拡充  
手続きの簡素化・雰囲気づくり
  - ③集める公民館から、集まる公民館へ
  - ④厳しい管理から、節度ある自由使用の慣行確立
  - ⑤運営審議会の機能強化と協力組織整備
  - ⑥事業の重点化と調整

(発表2) 香芝町における中央公民館の管理経営の課題と展望

香芝町は奈良県の北西部、緑豊かな自然環境で交通・道路網の発達により大阪のベッドタウンとして人口急増、3年後は確実に5万人を越す。新旧住民の融和・連帯意識の強化に重点をおき、コミュニティづくりが社会教育・公民館経営の最重点目標である。

- (1) 公民館運営のねらい、住民の社会連帯意識の向上、社会教育への啓蒙啓発とより広い住民層へのアプローチと、求めに応じ提供できるより高度な教育設備の充実

より広い仲間づくりと全町民対象とした家族の集いや、講演会・映画会・軽音楽会・学習発表会などの催しを通して公民館活動の啓蒙に努めている。

## (2) 課題と展望

- ①公民館職員の専門性(研修)と適正配置き推進が望まれる。
- ②図書の出しを主に巡回移動図書室の計画
- ③ボランティア活動志向を促し、活用組織づくり。
- ④本町の人口急増に伴い社会教育の有り方の吟味
- ⑤伝統的生活様式・価値体系の見直しと高令化社会に向っての民主的生活態度の養成。
- ⑥住民相互のふれ合いと対話をはかり、地域・生活課題に即し、参加しやすい地域公民館の整備が急務

(発表3) 町村に於ける公民館の管理経営の課題と展望(宇和町)

住民が学び、憩い、そして集うことを願う公民館はどのようにあればよいか、問題点を解明し、今後のあるべき姿を求めたい。

(1) 公民館の経営 主催事業が主で委託事業はモデル自治公民館活動など一部である。

## (2) 問題点

- ①会場利用に伴う社教団体の登録
- ②政党及び宗教団体の会場利用
- ③住み込み管理人の必要性
- ④公民館内に商工会事務所との同居
- ⑤社会教育職員と公民館職員の兼務
- ⑥公民館主事の超過勤務手当の実額支払

## (3) 望ましいあり方

- ①公民館は住民の身近かな所に
- ②施設は楽しく利用できる近代的なものを
- ③職員は各館に常駐2名、中央公民館には専門主事の設置・中堅クラスの任用
- ④人づくり・地域づくりのための予算増大

## 2. 討議内容

### 1. 質疑応答

○政党・宗教団体の使用は基本的にどのように考えればよいのか。また、専任職員と嘱託との関わりは、一社教法(第23・24条)にふれるが、他の施設がないので申込みがあれば、教育長の許可で利用させている。宗教関係も片寄らないよう配慮し貸している。

一嘱託は町の臨時職員並みで、社会教育指導員は国の規定通り行っている。

○中央公民館はない。地区公民館を充実するという発想でよいのではないか。中央公民館の働きと社会教育課兼務について

一中央公民館制度は出来て3年、6ヶ町村合併、1つの町としての意識をはかるため、

一社会教育課は町の社会教育を計画し、公民館は活動を推進するところである。

一超勤手当は満額支払うのが当然だが、 $\frac{40}{1000}$ 以内という規定があり、限定された中で何とかしようという考えのもとに行っている。

司会 中央・地区公民館それぞれ重点的に考ええる論もあるが市町村の実態により異なってくる。午後は公民館利用について①経費②管理運営と職員の勤務③事業の運営と活動の組織作りを柱として討議を深めたい。

### 助言

○公民館のあるべき姿—地区公民館が中心とした公民館であるのが本来的に基盤となるが今までの考え方であったが、社会の急変化にどう対応していくか。地域の実情を通して、もう一度見直す時期である。

○期待される公民館は住民と肌を接して活動のできる公民館であり、その地区の財産としての公民館である。

### 2. 討議内容

(1) 中公・地公の関係、取り組み・多くの参加を旨とした時、その費用等どのように実施しているか実践交流をよろしく。

○学級・講座・集会所の費用等には自主的に出してもらっている。

○施設利用・漸次拡大をはかる。公共機関の大切さを理解させている。

○けじめをつける意味で使用料をとっている。

# 新生公民館繁盛記

(19)

## 広がる公民館学習

### 関心高まる「郷土を語る会」

公民館は花ざかり、これまでにすでに二十六館の公民館が登場。好評をいただいています。これからもととしてご紹介いたします。

#### 利用度について

昨年の施設利用状況を調査すると件数一、三〇六、人数二八、〇二三、一日平均三・七件、人数にして約八十八人。一昨年の利用数と比較すると人数はほぼ同数だが、件数は約五〇件増えている。これは公民館活動が地域に広がりをもってきたものと思われる。

#### 主な学級・講座等について

#### 郷土を語る会

地域内の神社、仏閣に集まって、総長さん、任職さんから沿革、総務についてお話を聞く。昔当座で盛んである地域の振興、文化の向上をもちだした旅行商について古老の話を聞く。なす地域の見直し、より関心が高まった。  
婦人学級  
法律・衛生・調理・講話・旧跡めぐり毎月一回開催。家庭におられる婦人を対象に、午前の七時開会を利用して開講している。  
絵画教室  
一カ月に一度柏崎市の会館を訪れながら絵の具を添え、素直な心でたのしんでいる。「要は、手手より好きで描くことが大切」と先生のお話。

#### 今後の問題点

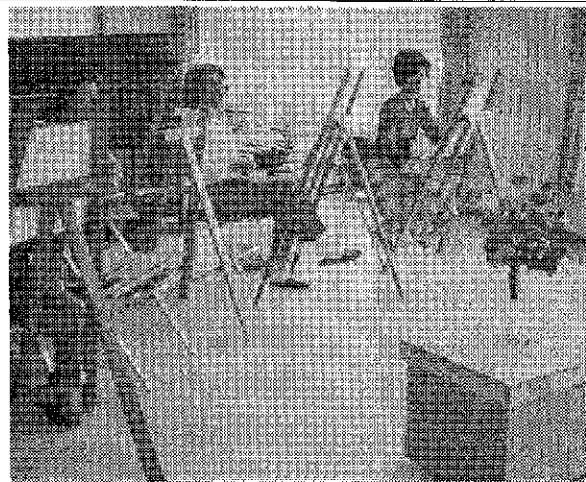
地区全体的に見ると必ずしも広く地区民に親しまれ参加されているとは限りません。今後は参加者の固定化を防ぎながら学級・講座教室等を中心に広く進めてゆきたいと思っております。  
(柏崎市比角公民館長 藤田市郎)

#### 地区コミュニティ祭り

コミュニティ協議会と公民館共催で毎年十月初旬の日曜日開催。書道・手芸・生花・茶統・盆会・合唱・うたい・民謡の各サークルなど多岐にわたる心算による成果ではあるが、好きな道を継続して練習することで、そこに生きがいを感じる現れであり年々盛大なものになっていく。

## 柏崎市比角公民館

(体育館が併設され、スポーツ活動も充実している)

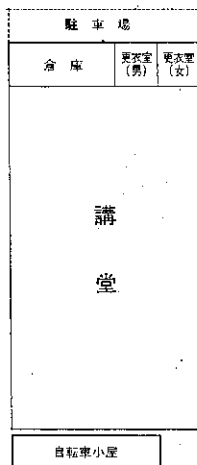


(素直な心でバラを描く絵画教室)

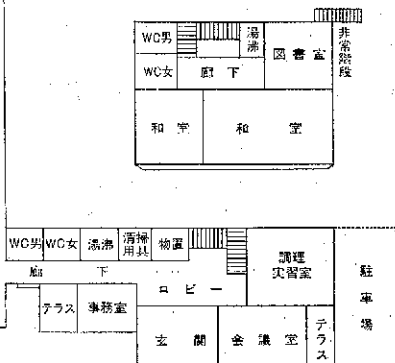
#### 平面図

敷地面積	3,024.9㎡
集会棟(一、二階)	402.2㎡
講堂棟	462.1㎡

#### 一階



#### 二階



# 公民館の文芸誌

公民館を軸として、地域に根をおろした文芸活動がさかんにおこなわれています。

編集部に届けられた公民館関係文芸誌のなかから、今月は新潟市中央公民館の「文芸むらかみ」からの随筆を紹介します。



## 作品集を歓迎

公民館で作成した文芸作品集や館報、または広報案内資料などをご送ってください。毎月上記の欄に紹介してまいりたいと思います。

## プロフィール

加茂市公民館主査  
小西 克征氏 (42才)

どちらかといえば小柄だが、声量は大きくこの人「こにし・かつゆき氏」。

幼なじみより親元を離れ、苦学を旨とした努力家である。

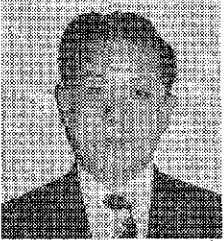
現在は、田上中学校大門前に立派な住宅を構え、妻晴子と奥さんと二女二男(長女・中二・小四)の五人家族の主人である。本来子供好きで、知人の子供を預かっては、奥さんとともに鼻の指通に当たっている。

昭和三十九年に教育委員会に採用されてから、図書館、公民館、勤労、その後兩浦インテリール事務局に勤務。

先生方の指導もすっかり視察指導に関する知識、技術をマスターして、今ではカメラや映写機等の機器に関する知識、技術をマスターして、今はカメラや映写機等の機器を駆使することにかけては、他に

今日も朝早くから夜遅くまで頑張っているが、健康には充分留意して欲しいものである。

(加茂市公民館長 山田 欽二)



山田 欽二

このごろ季節の匂いになんか... たいや、感じなくなるとい... なげはならないのかも... 私にはどちらかという... で季節を知るといふより、嗅覚... それから何となくそれらしい... う凜然とした感覚で知る方... ので、季節の匂いになんか... いうのは、ささやかなこと... ユンシも藤も葉もチナシも... そして、芦もトマトも穂青も... が薄く、虫の音も耳に遠な... たのはなせなろう。千もちの... のあの新鮮なときめきになんか... い。別に、そんなに早くから... の微妙なうつろいに響くほど... さしい少年であったわけでは... が、そのころは確かに季節を... ち、そして、季節を感じた。ユ... シの匂いには春を知った。薄... なる湯気からは誰だんへの期待... があふれて、私はひとりでぼそ

えんだ。川の水で洗ったトマトを... 両手を包み、仲間と顔見合せて... かじる直前の、鼻をつくあの甘... たるい香りに、涙の疲れがす... った溜息だ、掌に届いた葉のく... みはなつかしいし、蟋蟀の声は... のよにたまたまかかったし、細... 樺の先にささの身をまづけて、... の中のキリギリの音... の方へそっと突き出す... ときの緊張をきたし... 今思ひ出して、もどき... ます。

### 句

季節の匂いになんか... ったのは、太陽の光を遮断したハ... ウス裁縫のせいかもしれない。イ... チゴもサンランもある一年中ある... なんだって一年中ある。今年の冬... に、私は西瓜を食べた。いわゆる... 「初もの」の時期なてまてまてめ... ちゅちゅちゅになつてゐるのでも... う。そのものの本来の出産の時

### 安藤

長に季節を染しんで悦に入ると... どのうゆとりがなくなったこと... だ。そういう世の中になつてしま... ったのだ。おしいものは一年中... 食られるにこしたことはない、... 美しいものは一年中見られるこ... したことはない、そうなのだから... 正論をひききけて研究を続け、改

### 潔

いりそうなの、胸しめつけら... れるあの喜びがわらして生まれ... か。味のわがのぞきこみになる... のは当然なのだ。

季節そのものは確かにある。桜... 花を添えて春はちゃんと春らしく... ある。目に迫るばかりに鮮やかな... 紅葉の山もちゃんと秋に来る。し

かし、秋は、これが春だ、これが... 秋だと正固きつてぶつかつてくる... 季節をそんなに待ってはいない... あまのじゃくに言うなら、これみ... よかしの季節の大將はあまの好き... ではないのだ。何気なしに口に入... れたとき、思わずはうと鼻へ通じ... てくるほろにがい糖のとうの香... が好きだ、疲れて帰る夜道で、私... が歩み去った後ろから、ちゅちゅ... 見た、そういう事実だと恥ずかし... けな女だ。こうい... う縁の返し、待ちに... たる秋風の匂いが好きだ。ひそ... かな季節の移りを知らせる匂い... と風情が、とても好きだ。

(寂靜)

# あの頃のこと

## 発足のころの公民館 (1)

北川 郡 司

昭和二十四年十一月新潟県長岡市  
公民館に指定されたのを機に、  
私は公民館とのかかわりを二層深  
めることとなった。

善町公民館は昭和二十三年八月  
一日に設置された。公民館とい  
ても役場の二階、集会室兼講堂は  
議場、小中学校であり備品も町の  
文化会から引きついで図書、座机  
座布団くらいで、あとほすべて  
役場も学校の備品借用でもりく  
たもの。西蒲原郡四十四力町村は  
善町と大同小異であり専任職員も  
二、三方町村にすぎず、看板はあ  
るけれど、といったところが多  
かった。当時の様子は公民館報ま  
き第一号(昭和二十四年七月)  
がよく伝えているのでその大要を  
紹介する。

今後公民館に町民の皆様のつな  
がりを二層深めにするため公民館  
報「まき」を発行する。公民館と  
言っても屋敷は「おや、善町にそん  
な建物がある」といふからなら不審  
がられたり驚かれたりする方が多  
いと思ふが、善町では建物こそな  
文化会から引きついで図書、座机  
座布団くらいで、あとほすべて  
役場も学校の備品借用でもりく  
たもの。西蒲原郡四十四力町村は  
善町と大同小異であり専任職員も  
二、三方町村にすぎず、看板はあ  
るけれど、といったところが多  
かった。当時の様子は公民館報ま  
き第一号(昭和二十四年七月)  
がよく伝えているのでその大要を  
紹介する。

われわれの生活をより向上させる  
ため自由な討論を促してその結  
論を書き実施していくという、い  
わゆる社会学校であり文化生活  
の企画本部と指導本部を兼ねたも  
のとお考え願えればよいと思ふ。  
この運動の推進体として青年団、婦  
援会を賜りますますと衷心よりお願  
い申し上げたい。

発足当初の公民館の実態であ  
る。その公民館報の発行もじゅう  
校の位置をめぐって苦しい経験が  
あった。それは敷地について総言

町理事者、議会議員、各種団体・  
諸団体等関係者のみに止って、  
た。それでは町の社会学校として  
この読書に生活上の職業上の問題  
を議論して、いわゆる町の茶の園  
から新しい町造りの素地を見出  
す。住民の声として反映しよう  
する公民館の姿勢に意気込みがあ  
った。

公民館の努力目標「討論によ  
る自治の振興」とし問題提起を  
がき回答を求め、その中から問題  
を挙げて討論会のテーマとした。  
「まき」を刊行しその内容を深め町  
民の関心を高めるよう努力した。  
善町公民館がこれを選んだ理由  
は、善町においてかつて町立中学  
の位置をめぐって苦しい経験が  
あった。それは敷地について総言

ての手續を経て、工事費の半前  
「まき」の発行と「まき」の発行  
の一部から工事に待ったの言があ  
った。そのため回数が増えついで  
り全町をあげて紛争に巻き込まれ  
たのである。このような事を一度  
と繰り返さないために、町の問題  
は町民ひとりひとりの問題として  
「知ってもらい」「考えてもらい  
」さらにその考えを町理事者  
に知らせる。公民館報に「公民館  
報」を知ってもらい、公民館報に  
「まき」を持たせたいと「まき」  
の発行を求め、その中から問題  
を挙げて討論会のテーマとした。  
「まき」を刊行しその内容を深め町  
民の関心を高めるよう努力した。  
善町公民館がこれを選んだ理由  
は、善町においてかつて町立中学  
の位置をめぐって苦しい経験が  
あった。それは敷地について総言

最初町の公民館報というよう  
な問題から始めた。「公民館報  
共施設」「町の発展策」「中學校  
屋内外育館」「保育所の在り  
方」「公民館の在り方」「青少年  
不良化防止対策」「農村恐慌に  
くまか」「公民館報の編集」など  
はがき回答を求め討論の喚起につ  
めた時代であった。

(北川郡司)

### 詩 蕾

#### 浅間 勝 衛

誰も意識したことがない時間  
誰からも認識されたことがない  
空間が  
きみの膨らみのなかには内包され  
ているというのか

誰の眠りでもない眠り  
誰の音楽でもない音楽が  
きみの内部では匂いはじめている

もう始めている  
第五象限の世界

もはや何んのたすけもいらぬ  
何者もたすけることはできぬ  
蓬髪のみみが  
光よりも速やかに  
晩開きにむかって開花してゆく  
とき

未知な世界との出逢いには  
休止符しかない新曲の  
かすかな連弾



### 筆者紹介

現在善町、特北洋印刷勤務。  
昭和二十五年、若鷺橋を待って  
善町公民館理事として着任。樋口  
館長、石山理事などとともに現在の  
善町公民館の土台を築いた。現在  
九回時に原公建理事兼主任幹事と  
しても活躍した。その後、善町社  
教員長・公民館長、南一顧光課長  
・企画課長などを経て、再び教長  
麻枝課長を以てして依願退職。心機  
一新新しい職場で励んでおられる

日誌編纂は孤独な作業です。  
一ペーシから八ペーシまで、手  
落ちのない大胆さと濃やかな心  
づかいを全編にいきわたら  
せ、黙々と削り付け用紙に原稿  
を埋めていく。

未熟な私にとっては何となく苦  
しい仕事でした。  
一回の休みもなく、毎月コン  
ツと押された編集をしておられた  
本田事務局長、あらためて敬  
意を表します。

これから梅雨のシーズンとな  
ります。皆様も健康には十分お  
気をつけをお願いします。

(北川郡司)